

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公表番号】特表 2006-527877(P2006-527877A)
 【公表日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-048
 【出願番号】特願 2006-516433(P2006-516433)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 15/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 15/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 11 日 (2007.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タイルベースのレンダリングシステム内でコンピュータグラフィック画像をテクスチャリングするのに用いるためにテクスチャ画像データの一部分からテクスチャ画像のミップマップチェーンを自動的に生成するための装置であって、

景色データを供給するための手段と、

前記景色データを複数のタイルに分解するための手段と、

各タイルの前記データをタイルバッファに記憶するための手段と、

前記タイルバッファの内容を各タイル毎にフィルタリングし、次に、前記景色データから少なくとも 1 つのより低いレベルのミップマップデータを生成するための手段と、

より低いレベルのミップマップデータの各々を前記タイルバッファに一時的に記憶するための手段と、

より低いレベルのミップマップデータの各々をシステム主メモリに記憶するための手段と、

を含むことを特徴とする装置。

【請求項 2】

画像データをフレームバッファに書き込む前にそれを一時的に記憶するためのタイルバッファが用いられることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記フレームバッファは、前記主メモリの一部分を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記フィルタリング手段はまた、次に低いミップマップレベルを生成する前に、前記より低いレベルのミップマップを前記タイルバッファに記憶することを特徴とする請求項 1、請求項 2、又は請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

処理は、全ての望ましいミップマップレベルが生成されるまで所定の回数反復されることを特徴とする請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

タイルベースのレンダリングシステム内でコンピュータグラフィック画像をテクスチャ

リングするのに用いるために画像データの一部からテクスチャ画像のミップマップチェーンを自動的に生成する方法であって、

景色データを供給する段階と、

前記景色データを複数のタイルに分割する段階と、

前記データを各タイル毎にタイルバッファ内にレンダリングする段階と、

各タイルに対して、次に、前記タイルバッファの内容をフィルタリングして前記景色データから少なくとも１つのより低いレベルのミップマップデータを生成する段階と、

各レベルのミップマップデータを前記タイルバッファに一時的に記憶する段階と、

各レベルのミップマップデータをシステム主メモリに記憶する段階と、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 7】

前記テクスチャ画像データをフィルタリングする段階は、前記一時的バッファからのデータをフィルタリングする段階と、該このようにフィルタリングされたデータを該一時的バッファ及び主メモリに記憶する段階とを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記フィルタリングする段階は、全ての望ましいミップマップレベルが生成されるまで所定回数実行されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。